広報こしじ

第7号
新潟県三島郡
発行所 越路町役場
越路町公民館
電話 来迎寺局2番
印刷所 長岡市北越印刷

40年10月の人口動態

住民登録人口（10月末日現在）

世帯数	2,957
人口	15,227人
内訳 男	7,396人
内訳 女	7,831人

10月の住民移動状況

出生数	20人	死亡数	9人
内訳 男	11人	内訳 男	4人
内訳 女	9人	内訳 女	5人
転入数	14人	転出数	36人
内訳 男	10人	内訳 男	19人
内訳 女	4人	内訳 女	17人

今月の主要記事

△『家庭の日』をつくりましょう。
△冬期間の除雪に協力を
△不動沢地区農業改善事業着工
△財政再建変更計画概要
△県知事選挙越路町結果
△ガスの上手な使い方
△精神薄弱児親の会結成
△ねずみ駆除実施中
△中小企業年末融資
△明るく楽しい年末年始を

明るく楽しい年末年始を○○○

この年の最後の月に入り、公私共に何かと忙がしくあわただしさを感じさせます。皆様のご家庭でも一年のしめくくりや、お正月への準備にいろいろと多忙をきわめておることでしょう。毎年のことですが、12月は外出する機会も多く、又忘年会などで帰宅時間も遅くなります。こうした忙しさや気のゆるみにつけこんでいろいろな犯罪や事故、あるいは火災などが発生しやすい時期でもあります。今年もみんなで明るいお正月を迎えるため、お互に充分注意し無事にこの月を送りたいものです。

まず火の用心 事故のないよう

○火の用心

楽しいお正月を前に火事を出したら泣き正月です。これから寒さが加わると共に暖房や火気の取扱いも増えてきます。電気や炭こたつ、ガス・電気・石油等のストーブ、風呂など。正しい使い方で注意をおこたりなく利用しましょう。

○歳末防犯

師走の声とともにあたりの表情も万事あわただしく人と物の動きがはげしくなってまいります。こうした年末には犯罪が起きがちです。

・外出するときは、目立たないように出かけ、しっかり戸締りをした上近所にも見廻りを依頼しておきましょう。又金銭や貴重品はカギのかかるところに分散しておきましょう。
・寝る前には今一度見廻って、戸締りは完全か確かめて。
・バイク・自転車・自動車には必らずカギをかけてから離れましょう。
・商店では万引が増えますから特に注意を。
・スリは乗物、デパート、映画館等の混雑する場所に多いから注意しましょう。外出するときは必要以上の現金は持たないように。

○交通事故"ゼロ"

あわただしさと人出の多い歳末には自動車の運行もはげしくなり、又ちょっとした気のゆるみからも突発的な交通事故が起きやすい。先月1日信越線浦八幡宮附近で起こった列車と自動車の衝突によるあの大惨事、二度と起こすまい。車も人も交通規則を守り充分注意して事故のないようにいたしましょう。

共同募金 ―約32万6千円―

10月1日より実施されました「赤い羽根」の共同募金が皆さまのご協力により32万5千9百39円という高額な募金成績をあげることができました。さっそく県共同募金会に納入いたしました。

今月は歳末たすけ合い運動が実施されております。暗いお正月を社会の谷間で迎えられる人達に温い愛の手をさしのべて下さい。

急行とミキサー車の真昼の決闘

先月1日9時47分ころ大字浦信越本線信濃川の踏切（警報機付き）で、名古屋行急行「赤倉」と柏崎運送（運転手片桐祥夫（24）小国町出身）のコンクリートミキサー車が衝突した。すさまじい衝突音、その後まもなく血まみれになって泣叫ぶ声―12両のうち7両脱線3両が土手下に転落した。大事故ではあったが、幸い被害は最少限に止どまった。機関士のじゅん職、そしてこの現場復旧に500人以上と大型機械などによる2日間の徹夜作業。恐怖と迷惑と損失と。たった1人の過ちが、ただ"一旦停止 左右の確認"を怠ったばかりに、このような大惨事をひき起してしまった。二度と起すまい！

家庭の日をつくりましょう

非行青少年の数が年々増加する現在、その対策に大きな努力を県や町は注いでいます。

毎月第3日曜日を「家庭の日」に

今年は「明るい家庭造り」を年間活動目標として各行事を計画・実施して来ました。その一つとして来年1月の第3日曜日から毎月の第3日曜日を「家庭の日」として家族の全員が顔を揃え皆が意志の疎通・感情の融和をはかり、お互を理解し協力しあって明るい家庭づくりを推進することにしました。

なぜ「家庭の日」を制定して皆様にいまさら家族だんらんの機会をおつくり頂かなければならないかと申しますと、急速な経済の発展に伴なう産業構造の変化により、人々の生活があまり忙しくなり過ぎたため本来いこいの場でなければならない家庭がただ寝泊りして食事を取るだけの場となりつつある昨今、少しでも家庭的ムードを取りもどして頂くために「家庭の日」を決めました。

「家庭の日」には次のことを

(1)「家庭の日」をわが家で実施することを家族全員で確認話しあいします。
(2)次はそのやり方について家族全員の意見交換を行なって下さい。
(3)「家庭の日」は話し合い、楽しみ合い、協力しあい、いたわりはげまし合う内容をそれぞれ考えてみることが必要です。
(4)お仕事の都合で第3日曜に家族が全員揃えない時はその家庭によって協議して都合の良い日を定めて実施して下さい。
(5)皆様の中にはもうすでに健康な明るい家庭づくりをなさって毎日が「家庭の日」だとしておられる方もありましょうが、こうした方々は更にいっそう伸ばし、そこまで行っていない方はせめてこの月一回の「家庭の日」を生活のよりどころとして健康な明るい家庭づくりにご努力下さい。

出稼に出ている父や兄に手紙を書こう

家庭は人間生活の基本的な場であり、家族の暖い愛情のもとに心の支えとして大きな役割をはたす大切な場所です。

皆んなで明るい家庭をつくるよう努力して下さい。

越路中学校ではこの日は特に出稼世帯が多い点から父子が文通をする日として指導して頂いております。

一般出稼家庭でもぜひ第三日曜にはお父さんやお兄さんに文通する様おすすめします。

栄誉に輝く秋の叙勲

勲五等瑞宝章 浦 西脇菊次郎氏

菊薫る11月3日文化の日、秋の叙勲の発令があり、当町浦、西脇菊次郎氏は多年地方自治の発展に尽した功績が認められ、勲五等瑞宝章の栄誉をうけられました。

西脇氏は、昭和5年旧来迎寺村議会議員に当選以来引続いて合併後の越路町町会議員として現在まで実に35年以上の長きにわたって活躍され、この間昭和22年以降14年間は議長として議会運営に手腕を発揮、その他来迎寺村助役、同農業会長及び来迎寺郷、南部郷、信濃川左岸連合など土地改良事業の役員を歴任し、終始一貫地方自治の発展と地域住民の福祉向上に尽力された業績は、非常に大きなものがあり、このたびの栄誉を心からお祝いいたします。

冬期間の除雪

ことしもまた道路除雪の時期がやってきました。

町でも県ならびに関係者と協議して、できる限り努力いたしますので、除雪指定道路の沿線の方々にはいろいろ迷惑をおかけすることと思いますが、冬の幹線道路の交通網を確保するために協力をお願い致します。（土木課）

雪と戦い道を開くブルドーザー

みんなの広場 投書欄

問 同じ場所で、しかも何カ年かかって小刻みに道路工事をしているため大変通行に困っていますが、いっぺんに実施する経費が無ったら、計画的に順番にまとめてできないでしょうか。（運転手）

答 ご質問の趣旨にはまったく同感でありまして常々皆様方になるべくご不便をかけないよう努力して行く考え方で進んでおりますが、ご承知のように、町財政も各種の事業を実施するために仲々思うようになりません。ご指摘のように計画的に順番にまとめて工事を実施することも大切ですが、広い地域に沢山の集落があり地元の方々の道路改良に対する要望が集積されておりますので極端に片寄らせることもできない現状であります。尚、今後ともよく研究を進めてできるだけご不便、ご迷惑をかけないよう努力いたします。（土木課）

越路原（原畑）開田事業着工さる！

長年の宿願でありました越路原で去る10月1日より開田工事で始まりました現在まで畑として諸類、野菜が作付されて来ましたが、今年度より三ケ年計画で開田することになりました。さし当り本年は85町歩（東谷地域）の計画です。現在業者の懸命な努力により順調に作業が進行しております。来年の5月下旬には青田となり米の生産が期待されております。

塚山小学校増築工事竣工

去る七月三十日より工事着工されていた、塚山小学校増築工事は去る十四日工事が完了し、種々の検査をうけ、二十七日午前盛大な竣工式が挙行されました。

おしらせ

■中小企業に対する特別融資制度があります

最近の景気調整の過程において中小企業も、生産の調整、受注の減少、在庫の増大等、その経営も楽観を許さない状況にあるので、これらの中小企業者に対し低利の運転資金を融資することにより、当面している金融緩和を図り企業経営の健全化を期するために、このたび中小企業特別融資貸付制度が設けられました。左記ご参照のうえ関係者はご利用下さるようお知らせします。

一、貸付対象者 製造業、建設業（従業員30人以下）、卸、小売業（従業員9人以下）の者。
二、貸付限度 一事業者に対する貸付金額は運転に要する資金として百万円を限度とする。
三、取扱金融機関 信用金庫、信用組合。
四、貸付及び償還方法 信用金庫、信用組合の定めるところによる。
五、貸付期間 6ケ月以内とする。（最終返済期日は昭和41年3月31日とする）
六、貸付利息 日歩2銭3厘以内。
七、貸付開始時期 昭和40年11月1日より

なお詳しいことは役場商工係にお問合せ下さい。

■早目にお出し下さい

小包は12月15日までに年賀状は12月22日までに。（郵便局）

■"町内一斉ねずみ退治"ねずみ一匹五円で買います

今、県下一斉ねずみ駆除運動が行なわれております。県下に生息するねずみは推定1千万匹といわれ、これによる手間被害額は約37億円と推測されております。

秋のとり入れも終り、冬仕度のため貯蔵仕される穀物、野菜が多くなりますとねずみの被害も増し、又繁殖も旺盛になる季節です。この時期こそねずみ退治の本当に良い時でしょう。

ここに住みよい郷土を作る運動の一環として県内に住むねずみの徹底的駆除と年間被害額37億円の解消を目標に県下一斉ねずみ駆除運動が展開された訳です。町でもこの運動に呼応して次のように一斉退治をする事にしましたので皆さんのご協力をお願いします。

駆除期間 12月1日から12月5日まで

この期間中にとられたねずみ一匹に対し宝くじ一枚と町で報償金五円を差上げる事になっていますので一匹でも多く退治されますようお願い致します。

このねずみの回収事務は各物代事務所で行ないますので持参する場所、時間については各物代さんの指示に従って下さい。

■年末年始休暇

恒例により12月29日より1月3日まで役場事務を休ませていただきます。

不動沢地区 農業構造改善事業！

改良工事着工

国が農業基本法に基ずき昭和36年度より十ケ年計画で始めた農業構造改善事業も漸く軌道に乗り県下でもあちこちに実施されております。本町におきましても指定されて以来基本計画を樹立し推進して参りましたが、なにしろ大事業でありますので実施に踏切る部落はよほど強い熱意と決心がなければなりません。不動沢地区におきましては、関係者の一致協力によりまして本年より三ケ年計画で実施することになりました事は誠に敬意を表するものであります。基幹作物を養蚕とし、あらゆる事業を総合的に実施し所得の増大を図り経営を合理化するものであります。本年度は総事業費参千四拾万円で次の事業が着工されており、完成後の事業効果が期待されております。

農道（こんな奥にも車が通れる道が）着工

昭和40年度不動沢地区農業構造改善事業[illegible]

事業種目	施行個所名	事業主体	事業量	事業費	負担内訳 国庫補助金	[illegible]	[illegible]
				千円	千円	千円	千円
区画整理	[illegible]田	共同施行代表 酒井一郎外77名	17.36ha	16,010	11,207	3,840	963
一般農道	不動沢	共同施行代表 酒井一郎外118名	1,569m	9,470	6,629	2,270	571
集団桑園造成改良事業	[illegible]	不動沢農業組合	8.7ha	3,690	2,583	880	227
集団桑園造成改良事業	[illegible]原	不動沢農業組合	3.9ha	1,239	866	290	83
計	—	—	—	30,409	21,285	7,280	1,844

越路町の中心地（来迎寺）の土地改良事業

戦後食糧増産と労力節減を目的として急速に進展してきたのが土地改良事業です。各地で土地改良事業が完了すると共に機械が導入され現在では機械による作業に一変したことはとりもなおさず土地条件が整備されたためと思います。今日までとりのこされた来迎寺北工区（二〇町歩）と中工区（二五町歩）が関係者の強い要望により去る10月15日より一斉に着工されました。毎日寒さとたたかいながら来年の作付に間に合わせるため全力を上げて作業を進めております。完成後は美田となり米の増収と労力節減が期待されております。

投票率八〇・〇二% 県知事選挙終る

去る11月14日に行われた県知事選挙は、塚田現知事の再選でその幕を閉じた。当日はあいにくの天候と出稼ぎ時期であるため出足が心配されたが選挙人の関心は予想以上に高く投票率は前回の知事選挙（昭和36年12月、七四・九六%）を大きく上回る八〇・〇二%であった。

越路町における投票成績開票結果は次のとおり。

投票成績

投票区名	選挙当日の有権者数	投票者数	投票率(%)
第1投票区 浦	1,044	816	78.16
第2 〃 [illegible]	466	400	85.84
第3 〃 [illegible]	1,422	1,156	81.29
第4 〃 [illegible]	200	163	81.50
第5 〃 [illegible]	173	150	86.71
第6 〃 [illegible]	240	209	87.08
第7 〃 [illegible]	220	204	92.73
第8 〃 [illegible]	116	101	87.07
第9 〃 [illegible]	646	552	85.45
第10 〃 [illegible]	429	296	69.00
第11 〃 [illegible]	562	440	78.29
第12 〃 [illegible]	411	310	75.43
第13 〃 [illegible]	822	663	80.66
第14 〃 [illegible]	594	438	73.74
第15 〃 [illegible]	482	366	75.93
第16 〃 [illegible]	254	202	79.53
第17 〃 [illegible]	383	288	75.20
第18 〃 [illegible]	325	270	83.08
第19 〃 [illegible]	45	42	93.33
第20 〃 [illegible]	223	179	80.27
第21 〃 [illegible]	167	136	81.44
越路町合計	9,224	7,381	80.02

開票結果

塚田十一郎	5,388票
吉浦浄真	1,801票
浦沢与三郎	124票
無効投票数	68票

午後8時役場議場により開票

財政再建計画変更のお知らせ

昭和40年度越路町財政再建計画、第3次変更計画が、9月20日付で承認されましたので、地方財政促進特別措置法第4条の規定により、その概要を公表します。

昭和40年12月1日

越路町長 白井又三郎

1. 赤字解消の状況 （単位 千円）

区分	最初の赤字解消計画	今の赤字解消計画	変更したあとの赤字解消計画	最初の計画を上まわって解消する額	今の計画を上まわって解消する額
昭和38年度	12,280	23,437	23,437	11,157	—
〃 39 〃	16,830	30,698	40,601	23,771	9,903
〃 40 〃	21,930	21,930	26,930	5,000	5,000
〃 41 〃	22,380	22,380	19,161	—	—
〃 42 〃	20,800	11,684	—	—	—
〃 43 〃	15,909	—	—	—	—
合計	110,129	110,129	110,129		

昭和39年度に再建期間を、1年短縮して5年間としましたが、この度の変更で更に1年短縮し4年間とすることが出来ました。財政再建期間は当初においては8年間を計画しましたが、国の強い要請に基いて、6年間として出発したわけであります。現在その半分の4ヶ年で再建を完了出来る見通しとなりましたが、当時を思うと全く夢のようであり、これもひとえに町民各位の愛町の精神による強いご協力の賜と厚く御礼申し上げます。

2. 総合変更計画 （単位 千円）

区分	前年度内算見込額 A	昭和40年度 変更前 B	昭和40年度 変更後 C	C－B	C－A
1. 町税	72,014	60,235	65,138	4,903	△6,876
2. 地方交付税	68,729	61,710	66,115	4,405	△2,614
3. 国県支出金	11,617	20,362	21,393	1,031	9,776
4. 繰入金	—	1,200	1,200	—	1,200
5. 地方債	14,500	26,800	27,800	1,000	13,300
6. その他	17,305	14,896	16,311	1,415	△994
歳入合計	184,175	185,203	197,957	12,754	13,782
1. 人件費	44,997	52,146	52,490	344	7,493
2. 物件費	23,997	24,758	26,799	2,041	2,802
3. 維持補修費	2,670	6,026	4,803	△1,223	2,133
4. 扶助費	1,102	1,312	1,312	—	210
5. 普通建設事業費	32,133	35,850	43,805	7,955	11,672
6. 災害復旧事業費	4,404	1,963	1,963	—	△2,441
7. 失業対策事業費	4,550	5,162	5,282	120	732
8. 公債費	15,693	17,443	14,814	△2,629	△879
9. 繰出金	—	1,800	1,800	—	1,800
10. その他	99,620	71,931	64,050	△7,881	△35,570
歳出合計	229,166	218,391	217,118	△1,273	△12,048
歳入歳出差引額 a	△44,991	△33,188	△19,161	14,027	25,830
翌年度へ繰越す財源 b	1,100	—	—	—	△1,100
実質収支(a－b)c	△46,091	△33,188	△19,161	14,027	26,930

歳入増1千2百75万4千円、歳出減1百27万3千円により、昭和40年度末の赤字残高3千3百18万8千円は1千9百16万1千円と1千4百2万7千円の減となります。

この結果昭和41年度は1千9百16万1千円の赤字を解消することによって赤字は全く無くなることとなります。

精神薄弱児親の会結成

身体障害児童・精神薄弱児童を持たれるご両親そして本人の苦しみは誠に言うにつくせないものです。

ご承知のように身体障害児童・精神薄弱児童に対する福祉施設がどんどん進んで今迄は及びもつかない立派な国や県の施設ができております。身体や知能に欠かんを持つ子供さんを本当に幸にして上げるためには先ず両親の勉強が必要です。同じなやみを持つ者同志で子供の幸福をさがしてやりましょう。長岡市ではもう数年前からこの会が出来て親達が熱心に施設見学や児童福祉施設の充実に努力しております。越路町でもこの様な子供を持つ親だけで自主的な研究会を近く開催いたしたいと考えておりますのでその時はおさそい合わせてご出席下さい。

越路町社会福祉協議会

上手なガスの使い方

12月は、暖房や火気のほしい季節です。ここに越路町の皆さん方に対して耳寄りの話を、それは、上手なガス使用法をご紹介いたしたいと思い次の二、三を上げて見ました。

一、点火の順序は手際よく

・火をつけるときはナベ・ヤカン等を七輪に載せてからマッチを擦り、火口にかざして後七輪の栓を開けて点火する。
・消化の場合は火を消してからナベ・ヤカン等を下す。

二、空気を適量に調節する

・空気調節により炎の温度が最高になり経済的。
空気不足～赤い色で炎が高く勢いがない。
空気過多～炎が短く音が高い。
最高～内炎がすき透った青い色で勢いよく安定している。

三、ときどき器具の手入れを

・器具がよごれると不完全燃焼する。
・ガス料が多くなる。
・永持しない。

"器具がよごれた場合は"

(イ)器具ブラシ等でカスを取る。
(ロ)つまった炎口はキリであける。
(ハ)石けん水で洗い乾いたら油布でふく。

四、ガスを正しく使用するためには、是非これだけは

(イ)ゴム管のさしこみはしっかりと、安全バンドをつける。
(ロ)ふだん使用しないガス栓にはゴムキャップを。
(ハ)古いゴム管、不良なゴム管は良質なゴム管と取りかえる。
(ニ)長いゴム管は使用しない。ガス栓から器具まで3メートル以内に。
(ホ)ふきこぼれて火が消えないように。
(ヘ)小さい部屋、浴室等は換気に充分注意する。

工業統計調査は12月31日現在で実施

工業統計調査は、日本における製造業に属するすべての事業所を悉皆調査します。

調査目的は製造業に対してその生産要素及び生産活動の成果等について調査し日本における製造業の実態を構造的に把握するとともに生産活動に関する基本的資料を提供しようとするものです。

調査は、12月31日現在で行なわれます。明年1月上旬調査票が届けられますので、それまでに帳簿整理、関係書類を整えておいて下さい。

農地法のはなし

⑩ 潰れる農地に直接関係ある人はいいでしょうが、まわりの農地を耕作する者にとって、めいわくな場合もありますが、これについてはどうですか。

法律のうえではどうこうしなければならないという定めはありません。しかし、知事が潰すことを許可しようとするときは、まわりの耕作に影響がないかどうかを調査し、悪い影響があると思われるときは、その解決方法を潰す人にたてさせてからでないと許可しません。もしそれでも被害などがあった場合は、潰した人に被害を受けた人から直接交渉して補償などを要求することができます。

（おしらせ）

■農業委員会委員選挙人名簿登載申請

農業委員会委員選挙人名簿の登載申請は、毎年十二月一日現在の農家の世帯状況によって記載し、十二月五日までに農業委員会に提出して選挙管理委員会に提出する申告制度になっております。この選挙人名簿には補充名簿などの制度がありませんので、脱漏等のないよう特に注意し期日（十二月五日）までに必ず申請書を提出して下さい。

用紙は、農家組合長（惣代）さんを通じてお手もとへお届けいたします。用紙裏面の記載注意をご覧下さい。

※ 農業委員の経営面積に対する有権者の認定基準は左表によります。

経営面積	有権者数
一反以上三反未満	二人
三反以上四反未満	三人
四反以上五反未満	四人
五反以上六反未満	五人
六反以上	全員

越路町選挙管理委員会
越路町農業委員会

公民館だより

公民館 秋の行事終る

秋を楽しくおくるスポーツ、趣味の行事を、次のとおり実施しました。沢山の参加により盛り上りのある行事となり次の方々が好成績でした。

一、町民バスケット大会（10月16日 越路中）
優勝 役場、二位 朝日山

一、事業所対抗野球大会（10月17日 越路中）
優勝 来迎寺停、二位 役場、三位 来迎寺農協

一、町マラソン大会（11月3日 有料道路）
中学生の部（四千M）
優勝 内山美知夫 千中
二位 関 敏栄 越中
三位 新保 剛 〃
一般高校の部（八千M）
優勝 内山良昭 小坂
二位 西脇利夫 浦
三位 西脇幸雄 浦

一、町民将棋大会（11月7日 役場）
優勝 小野塚正春、二位 岡村銀治、三位 長部貞一

一、町民囲碁大会（11月7日 巴館）
優勝 内山昇、二位 熊倉謙吉、三位 桑原悦男

その他に中越地区親善卓球大会、謡曲大会、町民バドミントン大会を行った。

町連合青年団解散する

町村合併後に誕生した越路町連合青年団（小林国雄団長）は11月1日をもって解散した。

一時千余の団員を擁し、その名を郡南部の雄としてスポーツ文化活動に、社会事業にと、先輩諸兄の力強い団結力により受け継れてきた青年団であったが、各部落組織の崩潰と激動する社会情勢の変化や青年自身の生活様式や勤労動態の変化により、解散をよぎなくされたとは言うものの、輝しい歴史を誇った青年団だけに惜まれてならない。

青少年教育や不良化防止の必要性が叫ばれておる今日、その基盤たる組織が解散するということは、町として今後大きな問題点となることは言うにおよばず、各家庭における青少年のあり方、とりわけ青少年自身にふりかかる社会的弊害はおおきいものと思われる。

今後、町教育委員会を主体に、たとえ青年団が解散しても、より一層の青年活動や学習がおし進められる方途を講じていきますが、各家庭における適切な指導も必要と思われます。

成人者講座終了

去る、11月15日成人者講座修了式が役場で行われました。

一般教養、野外活動、エチケット、レクリエーションと八回の講座に七十八名が受講し、青年に必要とされる知識を修得され、出席優秀の次の方に修了証が授与されました。

山岸久子、丸山英子、金子千鶴子、鷲頭洋子、堀洋子、広川信子、若月弘子、藤塚敏子、内山健、宮沢勉、丸山哲、松井正、永井光雄、小野塚進、細川光雄、平石幸史、渡辺昭、丸山和四、田中功、深井秀美、大矢悦子、内藤ヨシ子、高野美知、浅井政行、小林キヨ、高野紀代子、西沢多美子、高橋克江、山崎アイ子、金子四郎、半藤幸男、丸山正光、原口久美子、長谷川タケ子、伊佐忠作、伊佐洋昭、丸山健蔵（以上三十七名）

編集室

あわただしい年末がやってきました。この冬は雪が早いとか。火のもとには充分気を配って、みんなそろってよいお正月をお迎え下さい。